

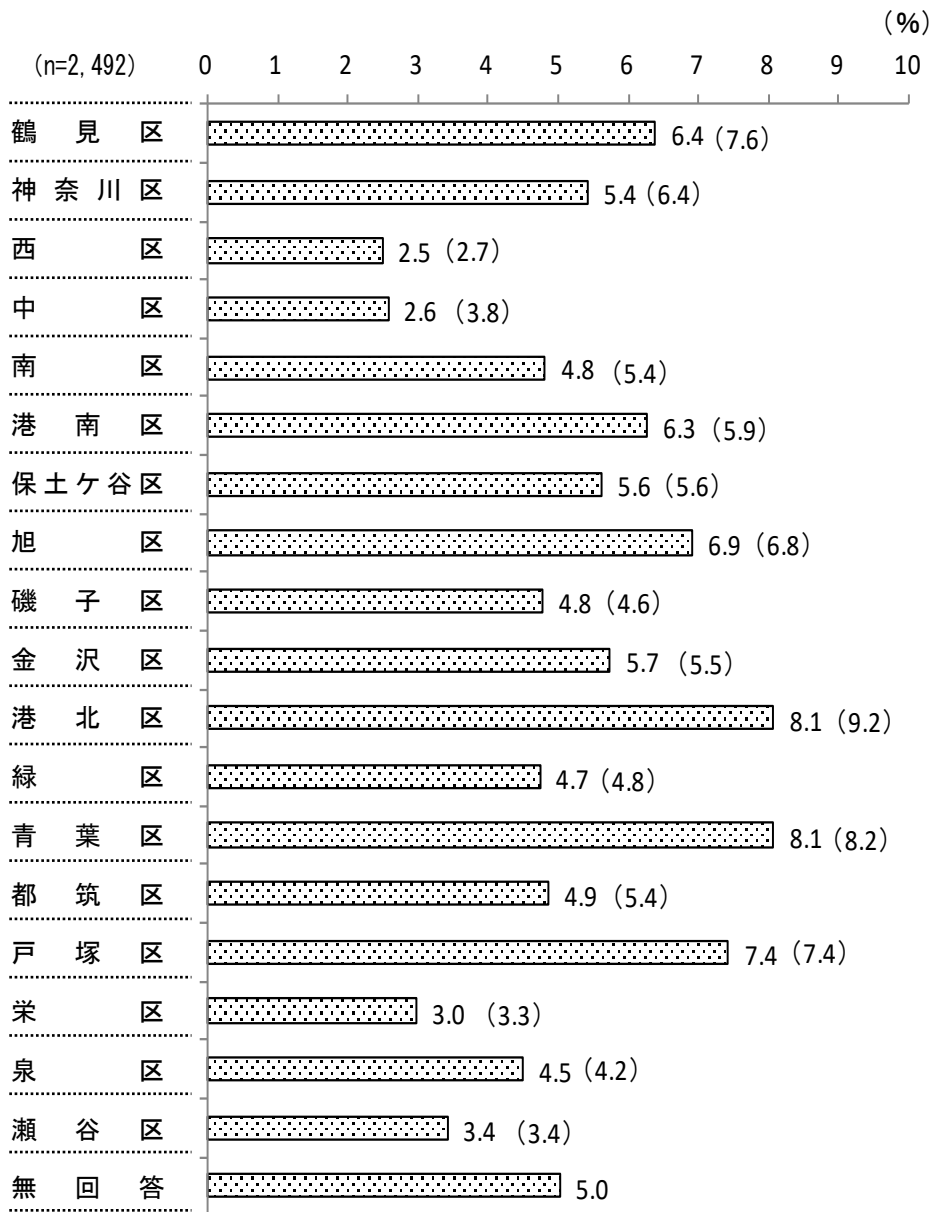
II 市民生活

1 居住区

◇ 「港北区」と「青葉区」が8.1%、「戸塚区」7.4%、「旭区」6.9%、「鶴見区」6.4%で上位

問1 さっそくですが、あなたがお住まいの地域は何区ですか。(○は1つだけ)

図表Ⅱ-1-1

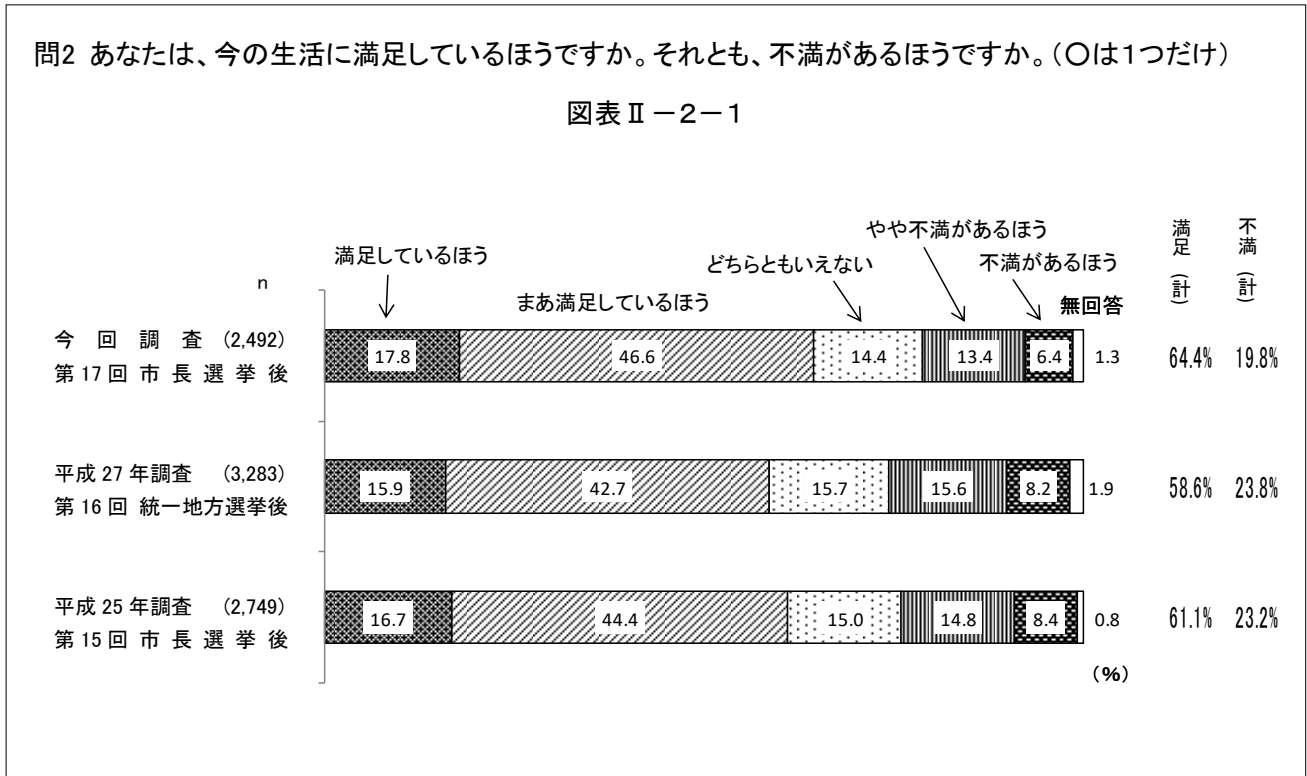


※ ()内は、横浜市全体の有権者から算出した区ごとの有権者の比率

居住区について聞いたところ、「青葉区」と「港北区」が8.1%と最も多く、次いで「戸塚区」(7.4%)、「旭区」(6.9%)、「鶴見区」(6.4%)などの順になっている。一方「西区」が2.5%と最も少なく、次いで「中区」(2.6%)、「瀬谷区」(3.4%)などとなっている。これらは、区ごとの有権者の比率(グラフの中の()内の数字)にほぼ対応している。(図表Ⅱ-1-1)

2 生活満足度

◇ 『満足』している人は 64.4%



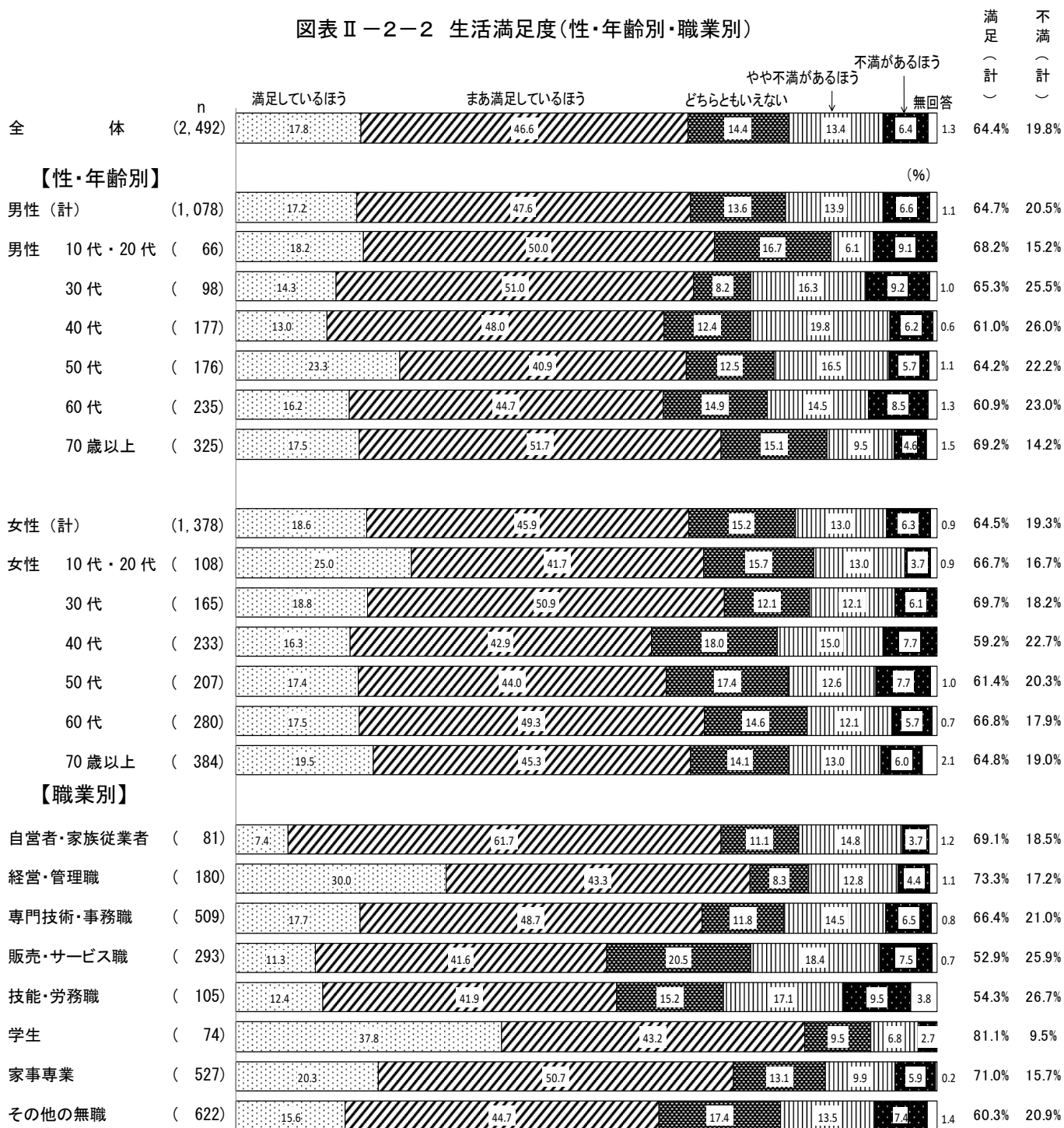
今の生活の満足度について聞いたところ、「満足しているほう」(17.8%)と「まあ満足しているほう」(46.6%)を合わせた『満足(計)』は64.4%となっている。一方、「やや不満があるほう」(13.4%)と「不満がある」(6.4%)を合わせた『不満(計)』は19.8%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と比較すると、『満足(計)』(64.4%)は、前回(58.6%)より5.8ポイント増加している。(図表Ⅱ-2-1)

性・年齢別にみると、『満足（計）』は、男性（64.7%）、女性（64.5%）と拮抗しており、女性30代が69.7%と最も多く、男性では70歳以上が69.2%と多くなっている。『不満（計）』は、男性40代が26.0%と最も多く、女性では40代が22.7%と多くなっている。（図表Ⅱ-2-2）

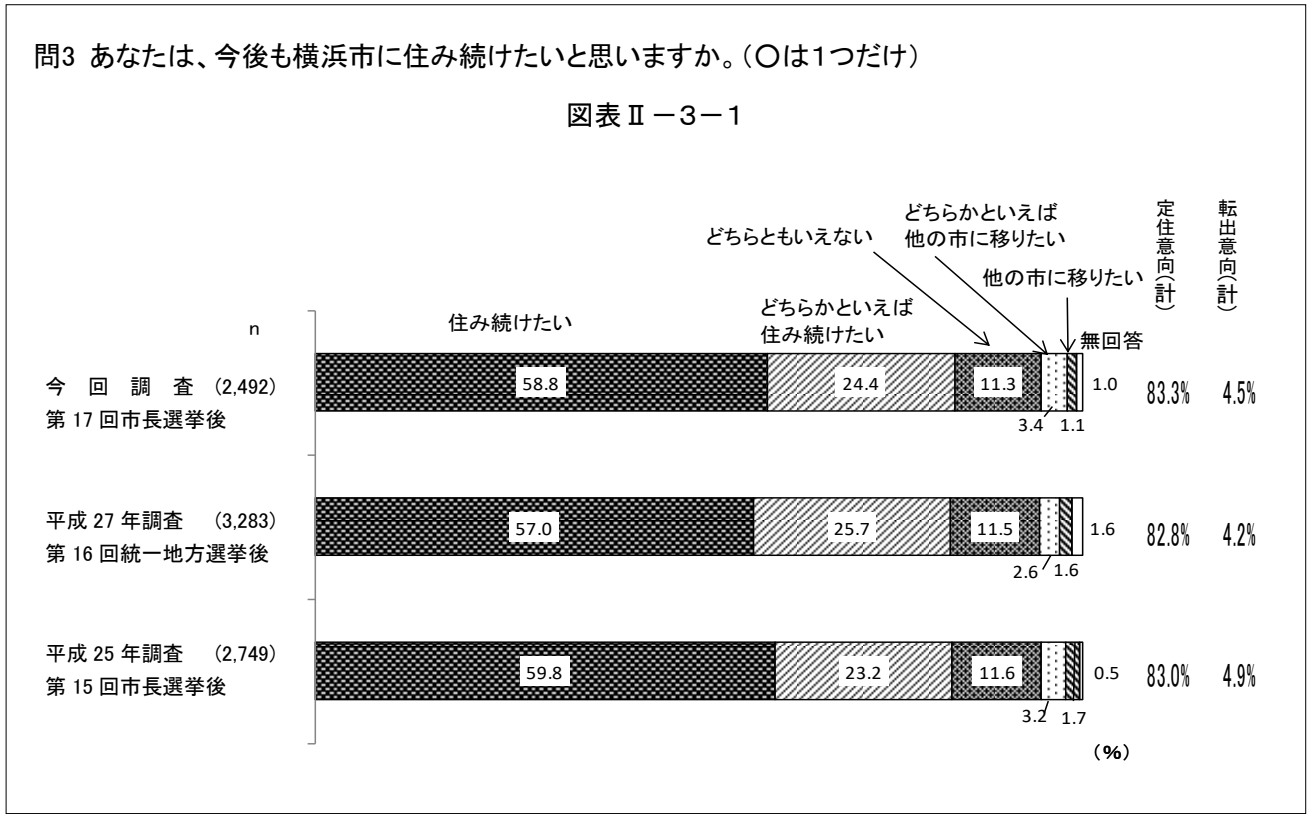
職業別にみると、『満足（計）』は、学生が81.1%、経営・管理職が73.3%、家事専業が71.0%と多くなっている。『不満（計）』は、技能・労働職が26.7%、販売・サービス職が25.9%となっている。（図表Ⅱ-2-2）

図表Ⅱ-2-2 生活満足度(性・年齢別・職業別)



3 居留意向

◇ 定住意向は 83.3%



今後も横浜市に住み続けたいかについて聞いたところ、「住み続けたい」(58.8%)と「どちらかといえば住み続けたい」(24.4%)を合わせた『定住意向(計)』は83.3%となっている。一方、「どちらかといえば他の市に移りたい」(3.4%)と「他の市に移りたい」(1.1%)を合わせた『転出意向(計)』は4.5%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と平成25年調査(第15回市長選挙後)と比較すると、『定住意向(計)』は、あまり差が見られず、ほぼ変わらない傾向になっている。(図表Ⅱ-3-1)

区別にみると、『定住意向（計）』は、西区が93.5%で最も多く、次いで港南区91.0%、南区90.0%とほぼ並んでいる。また、中区と緑区（79.7%）、鶴見区（78.0%）以外はいずれも80%以上と高い割合となっている。（図表Ⅱ-3-2）

生活満足度別にみると、『定住意向（計）』は、生活に「満足しているほう」と感じている人ほど高い傾向にある。一方、『転出意向（計）』は、「不満があるほう」と感じている人で19.5%となっている。（図表Ⅱ-3-2）

図表Ⅱ-3-2 居留意向(区別・生活満足度別)

